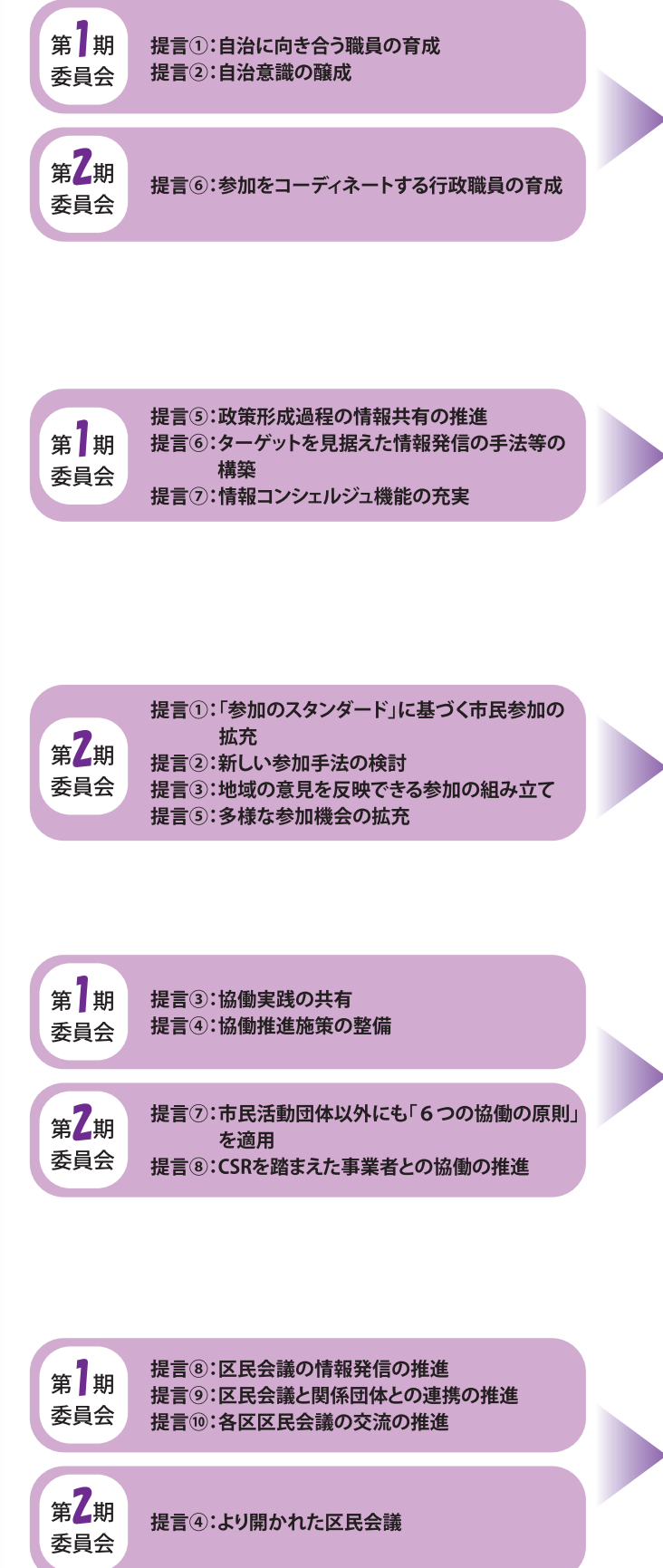


川崎市では、第1期、第2期自治推進委員会の提言を踏まえ、「川崎市自治推進委員会の提言に基づく市民自治の委員会では「第2次推進プラン」の取組状況を確認し、各局区で進められている取組が概ね順調に進んでいることを

推進に向けた第2次推進プラン(以下「第2次推進プラン」という。)をとりまとめています。確認しました。

第1期・第2期自治推進委員会の提言



「第2次推進プラン」の取組項目

及び取組状況

I 総合的な自治の醸成	取組1.自治に向き合う職員の育成	市が自治基本条例の理念に基づき、様々な施策を効果的に展開していくため、「第2次川崎市人材育成基本計画」を定め、基本計画が掲げる「めざすべき職員像」の周知を図り、職員の育成に取り組んだ。 ○基本計画の周知 ○自治基本条例に関連した研修の実施
	取組2.自治意識の醸成	自治基本条例の理念の浸透を図り、市民自治を推進するために、パンフレットや「かわさき自治推進フォーラム」等のイベントを開催して自治意識の醸成を図った。 ○自治基本条例の周知 ○自治の担い手につながるきっかけづくり ○子どもの自治意識を育む環境整備
	取組3.政策形成過程の情報共有の実践	各局・区において、それぞれの事案にあった時期、手法を考慮しながら、市民への説明会等を開催するなどして、政策形成過程における情報共有を図った。 ○重要な政策課題についての説明会 ○パブリックコメント手続の適正な運用 ○パブリックコメント手続の制度周知
II 情報共有の推進	取組4.ターゲットを見据えた情報発信の手法等の構築	市政だより、テレビ、ラジオ、ホームページのほか、民間の情報誌など、各種広報媒体の特性を考慮しながらターゲットに合わせて複合的に活用し、戦略的な情報発信を進めた。 ○各種広報媒体の情報発信 ○インターネットサイト等を活用した戦略的情報発信 ○その他情報の受け手の特性を踏まえた情報発信
	取組5.情報コンサルジュ機能の充実	ホームページにおいては、見やすく分かりやすいページづくりを進めている。また、本庁舎代表電話と各区役所の総合案内電話を総合コンタクトセンターに統合し、利便性の向上を図った。 ○わかりやすいホームページに向けた機能強化 ○総合コンタクトセンター(サンキューコールかわさき)の機能充実 ○その他、案内機能の強化など市民が必要とする行政情報にたどりつきやすくする取組
III 市民参加の拡充	取組6.質の高い市民参加機会の拡充	各局・区において自治基本条例に定められた制度・仕組みに加え、アンケートや説明会、懇談会、ワークショップなど多様な参加手法を用いた計画等の策定などを行った。 ○審議会等における市民委員の公募 ○パブリックコメント手続の運用 ○アンケートなど市民ニーズ把握のための事前調査 ○より多くの意見を反映させるための説明会 ○新しい市民参加手法の実践に向けた調査・研究 ○区・地域における意見聴取など、きめ細かな参加機会
	取組7.協働実践の共有	協働型事業の情報を集約するとともに「協働型事業の事例集」を作成し、市民と職員の情報の共有化を図った。また、「協働型事業のルール」について職員及び市民を対象とした説明会を開催した。各局・区で市民活動団体と協働で行っている事業は、「協働型事業のルール」に沿った形で実施し、協働に関する共通認識を深めることに取り組んだ。 ○協働型事業の実施 ○協働型事業のルールに関する説明会の開催
IV 協働のまちづくり	取組8.協働推進施策の推進	「協働推進窓口」を設置し、協働型事業についての相談への対応、行政、市民間の調整などを行った。また、各区においては、協働型等の事業提案制度(市民提案型事業)を引き続き実施し、実施結果を検証することにより地域課題の解決に結びつけている。 ○協働推進窓口の運営 ○区における事業提案制度(市民提案型事業)の実施
	取組9.事業者等との協働の推進	各局・区において、事業者等との連携、協働による事業が多く実施され、互いの特性を發揮しながら公共的な課題解決の取組が行われた。また、協働型事業のルールに関する説明会においては、市民活動団体以外の主体と協働する場合にも可能な限り「協働型事業のルール」に示されている「6つの協働の原則」を意識しながら事業を進めることについての説明を行った。
V 区民会議の充実	取組10.区民会議の情報発信の推進	区民会議の概要を分かりやすく記載したパンフレットを作成し、各区役所、市民館、図書館、タウンミーティング等で配布するとともに、各区において多様な広報媒体や独自の情報紙の発行などにより、区民会議の認知度の向上と審議内容、取組状況の広報に努めた。
	取組11.区民会議と関係団体との連携の推進	区民会議の審議結果については、その実践に向けて、事務局(区役所)がコーディネート機能を果たしながら委員の出身母体である関係団体・機関などとの調整を進めるとともに、関係部署と連携・調整を図りながら地域課題の解決に取り組んだ。
	取組12.開かれた区民会議の推進	区民会議委員同士の交流については、「かわさき自治推進フォーラム」の一プログラムとして区民会議交流会を実施した。また、委員間の共通認識が深まるような情報提供や勉強会などを開催するとともに、区民との対話、交流を行うフォーラムなどを開催した。